

かわ

2019 冬号

NO. 108

特集

【インフラツーリズム～魅力ある河川構造物の再発見！～】

- ◇七川ダム～日本最古の高圧スルースゲート～
(和歌山県河川・下水道局河川課)
- ◇福井の新たな魅力～河内川ダム～
(福井県土木部河川課)

トピックス

- ◇国道2号横断部の河川改修工事の完成
(神戸市建設局防災部河川課)
- ◇“いい川”を探って
第12回 いい川・いい川づくりワークショップ in 滋賀・京都を開催！
(滋賀県土木交通部流域政策局 広域河川政策室)



河川紹介

- 2 滝川（三重県） (A)

特集

【インフラツーリズム
～魅力ある河川構造物の再発見！～】

- 3 七川ダム
～日本最古の高圧スルースゲート～ (B)
和歌山県河川・下水道局河川課

- 5 福井の新たな魅力
～河内川ダム～ (C)
福井県土木部河川課

トピックス

- 7 国道2号横断部の河川改修工事の完成 (D)
神戸市建設局防災部河川課

- 9 “いい川”を探って第12回 いい川・いい川づくり
ワークショップ in 滋賀・京都を開催！
滋賀県土木交通部流域政策局広域河川政策室

季節の水辺風景

- 10 飛鳥川 網掛神事（奈良県）

- 11 御船の滝（奈良県）

水辺を楽しもう

- 12 五十鈴川 初穂曳 ～内宮領川曳～（三重県）

インフォメーション

- 13 鴨川探検！再発見！第54弾
（京都府建設交通部河川課）



滝川と布曳滝(三重県名張市)

① 滝川(赤目四十八滝)(表紙)
 奈良県と三重県の県境を流れる一級河川淀川水系滝川(三重県名張市赤目町)の上流に約4kmにわたって続く渓谷が赤目四十八滝です。赤目四十八滝は室生赤目青山国定公園の中心に位置する瀑布(ばくふ)群で、日本の滝百選、森林浴の森100選、遊歩百選に選定されています。赤目四十八滝の内、特に見所とされる不動滝(ふどうだき)、千手滝(せんじゆだき)、布曳滝(ぬのびきだき)、荷担滝(にないだき)、琵琶滝(びわだき)の5つの滝を「赤目五瀑」と言います。



※図中 A B C D は記事の位置を示しています。



琵琶滝



荷担滝



大日滝

七川ダム～日本最古の高圧スルースゲート～

和歌山県 河川・下水道局 河川課

1. はじめに

七川ダムは古座川流域に位置しており、ダムに流れてくる水の一部を貯め、下流への放流量を調節することで安全に流下させる洪水調節と発電を目的とする多目的ダムです。古座川総合開発事業の一環として、東牟婁郡古座川町佐田地内に昭和28年（1953年）から着工し、昭和31年（1956年）3月に完成した県下初の県管理ダムです。

放流設備として、ダム上部にローラーゲート（8.5m×14.8m）が2門、ダム下部には高圧スルースゲート（2.59m×2.59m）が1門あり、洪水時にはこれらの放流設備を使い、洪水調節を行っています。



2. 令和元年度土木学会選奨土木遺産

ダム下部に設置されている高圧スルースゲートは、ダムが建設された昭和31年（1956年）当時、同年に竣工した鬼怒川の五十里ダムと同様、国内最古級の高圧スルースゲートです。五十里ダムでは平成15年（2005年）3月に新ゲートが整備されたことにより、現在は使用されていないため、当該施設は現役で稼働している国内最古の高圧スルースゲートです。

ダム上部に設置されているローラーゲートについても、平成22年（2012年）に巻上機や管理橋の老朽化に伴う取替により更新されていますが、ゲート扉体については補修及び補強はされているものの、当時の姿をよく残しています。

上記の点に加え、建設後約60年経過した現在においても、洪水調節を行うことにより、下流沿川の浸水被害の軽減に努めていることが評価され、令和元年度に土木学会選奨土木遺産に認定されました。

特集【魅力ある河川構造物の再発見！】

写真-2
高圧スルースゲート
(シリンダ部)



写真-3 ローラーゲート(下流側)



3. 「日本ダムアワード2015」洪水調節賞受賞

日本ダムアワードとは一年間のダムの活躍を振り返り、ダムファン有志による選考委員が様々な角度から活躍したダムをノミネートし、選考委員と参加者による投票で、各部門でその年にもっとも印象に残る働きをしたダムを選出し、その功績を讃えようというイベントです。(日本ダムアワードHPより引用 <http://japandamaward.org/>)。

この“日本ダムアワード2015”において、県が管理する七川ダムが6部門の1つである「洪水調節賞」を受賞しました。

写真-4 受賞トロフィー



4. おわりに

七川ダムでは、土木学会選奨土木遺産認定、ダムアワード受賞の他には、ダムファンの間で人気のあるダムカードを配布しており、春にはさくら名所100選にも選定されている七川湖畔周辺の桜を見ることができます。ダムを見る機会の一環としても七川ダムへ一度訪れてみてはいかがでしょうか。

写真-5 ダムカード (七川ダム)

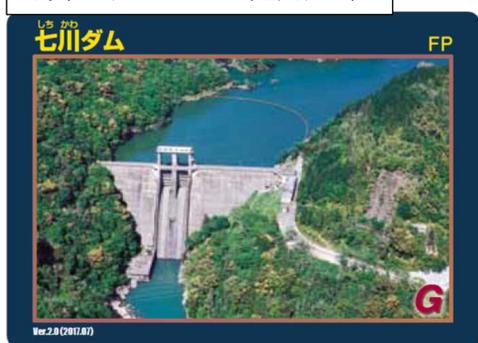


写真-6 七川ダム湖畔



※公益財団法人日本さくらの会 HP より

福井の新たな魅力～河内川ダム～

福井県土木部河川課

1 はじめに

福井県若狭町において令和元年6月9日に竣工した河内川ダムは、令和に入り全国で初めて供用開始された記念すべきダムです。

ダムとして地域住民の生命と財産を守り、生活に不可欠な水資源を供給するだけではなく、新たな観光スポットとしても注目されています。



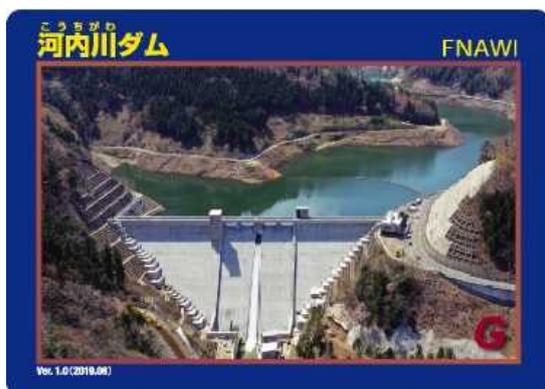
2 河内川ダムの魅力

河内川ダムは6月の竣工以来、毎月平均1,000人前後の人が訪れており、訪れた方には監視所において河内川ダムのダムカードを配布しています。

また、河内川ダム周辺には旧宿場町「熊川宿」をはじめ、日本遺産第一号となった「御食国（みけつくに）若狭と鯖街道」に含まれる古墳等の文化財が数多くあります。

河内川ダムを訪れる際には、ダム近傍の道の駅若狭熊川宿で買い物をする等、ダムと併せて付近の観光もお楽しみください。

その他にも河内川ダムには様々な魅力があります。今回は河内川ダムの魅力について紹介します。



3 イベントでわかる魅力

1) 自然にふれあう里山感謝祭

令和元年11月2日には、里山感謝祭が開催されました。広葉樹の植樹や自然を楽しみながらのウォーキング、その他にもダムの見学等、参加された方々に河内川ダムとその周辺の魅力を知って頂くことができました。



特集【魅力ある河川構造物の再発見！】

2) ダムを望むふるさと若狭駅伝大会

11月3日には河内川ダムのダム湖(明神湖)の周りを走る駅伝大会が開催されました。

ダム湖を望みながら一周6kmある道のりを走るダムRUNと小学生を対象としたちびっこ駅伝も同時に実施したことで、子供から大人まで河内川ダム周辺の景観を楽しみながら楽しく走ることが出来たイベントでした。

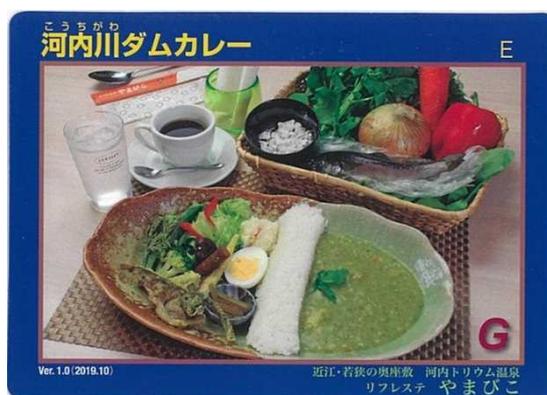


4 食でわかる魅力

明神湖の湖畔にある「リフステやまびこ」では、河内川ダムカレーを食べることができます。

河内川ダムカレーは地産の山菜や魚等が豊富に使用され、エメラルドグリーン湖面が表現されています。

また、記念として河内川ダムカレーカードがもらえます。



5 探してわかる魅力



河内川ダム近傍にある道の駅若狭熊川宿には、数々の特産品とともに、熊川宿公認キャラクター「クマ川さん」のキーホルダー等が売られています。

河内川ダム周辺には、このクマ川さんと河内川ダムが描かれた案内看板やマンホールが設置されています。河内川ダムを訪れた際には探してみてください。

6 おわりに

河内川ダムは、治水・利水の機能以外にも多くの魅力を秘めた施設です。福井県内、県外両方から多くの人に来訪していただき、楽しみながらダムへの理解を深めていきたいと考えています。

今後も河内川ダムの魅力を発信していきます。ぜひ一度、新たな福井の魅力である河内川ダムを訪れてみてください。

国道 2 号横断部の河川改修工事の完成

神戸市建設局防災部河川課

1. はじめに

神戸市では、過去の水害を契機に創設された都市基盤河川改修事業（旧都市小河川改修事業）により昭和 45 年以降、市街地を流れる二級河川のうち 36 河川で事業を計画し、32 河川において整備が完了しています。残りの 4 河川（妙法寺川・櫛谷川・友清川・伊川）についても、整備を進めています。今回は、現在事業中の二級河川妙法寺川において国道 2 号横断部（若宮橋）の改修工事が完成しましたので紹介します。

2. 妙法寺川の改修概要

二級河川妙法寺川は神戸市須磨区を流れる全長 6,975m の河川です（図-1）。妙法寺川は、山間部から市街地、そして河口までを急速に流れる特徴を持つ表六甲河川群に属しています。中上流部から河口までは 3 面張り構造となっており、本市において河床を切り下げる工事により治水安全度の向上を図っています。

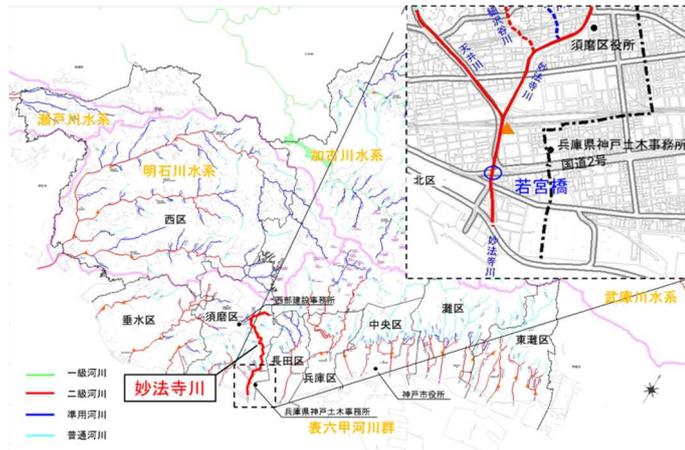


図-1 妙法寺川

3. 国道 2 号横断部の改修

妙法寺川と国道 2 号が交差する箇所「若宮橋」が架かっています。国道 2 号は片側 4~5 車線の西日本を横断する直轄国道であり、神戸市の東西の交通を担う重要な路線です。昭和 41 年に架設された若宮橋には、中間橋脚があり、河川の断面を阻害している状況でした（写真-1）。



写真-1 若宮橋（改修前）

トピックス

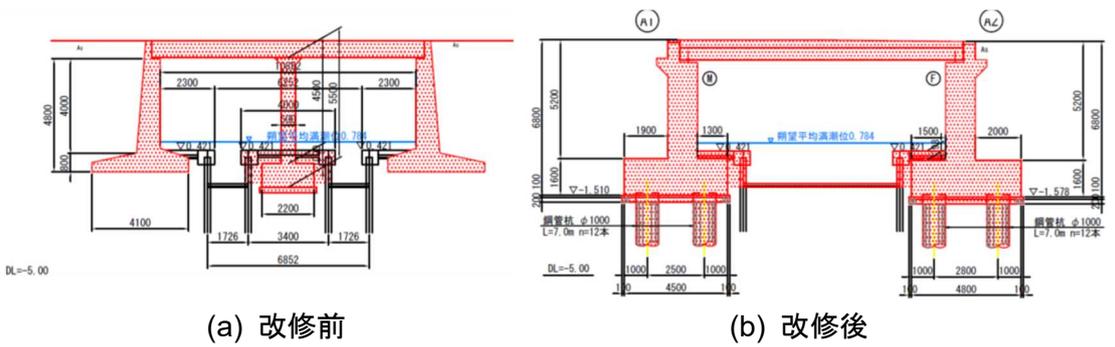


図-2 改修図面



写真-2 若宮橋

その断面障害を解消し必要な流下能力を確保するために、橋梁の架替えによる中間橋脚の撤去および河床の切下げが必要でした（図-2）。この工事は、国道2号の管理者である国土交通省近畿地方整備局兵庫国道事務所に委託し実施しました。交通量が非常に多い国道2号の中央での架替えは難工事でしたが、平成25年度から5か年かけ、平成30年度に完成しました（写真-2）。

4. おわりに

妙法寺川では現在も河川改修を行っており、中流域では親水広場を設ける等、春には桜が綺麗に咲き乱れる地域住民が親しみやすい空間の整備にも心掛けました（写真-3）。また、未改修の区間において、河川モニタリングカメラや危機管理型水位計の設置等によりソフト面の対策にも取り組んでいます。

今後も着実に河川改修を進めていきたいと思っております。



写真-3 中流域の親水空間（妙法寺川公園）

トピックス “いい川” を探って

第12回 いい川・いい川づくりワークショップ in 滋賀・京都を開催！

滋賀県 流域政策局

いい川・いい川づくりワークショップは、『“いい川”とは何だろう』をテーマに、水辺で活動されている市民・住民の率直な思いや取り組みを持ち寄り、発表することで、ワークショップの参加者も含め「みんなで」議論し答えを探っていく公開選考方式のワークショップです。12回目となる今回、近畿で初めて滋賀県・京都府合同で10月5日・6日に開催されました。



グランプリの表彰
(玉ーアクアリウム)

今回のワークショップには、北海道から九州まで、37の団体が日々の活動や思いを発表されました。小学生が中心となり河川の生態や環境を調査する団体や、古くから川に携わりその文化を継承しようとする団体など、老若男女問わず200名を超える参加者により、非常に活発なやり取りが交わされました。その結果、かねてより「淡海の川づくりフォーラム」に参加されていた『玉ーアクアリウム(兵庫県明石川)』の皆さんが、今回、最もキラリと光った団体としてグランプリを獲得されました。

ワークショップの最大の特徴でもある公開討論方式をさらに盛り上げるため、昨年度の「淡海の川づくりフォーラム」でも実施した、議論を可視化する「グラフィックレコーディング」を行うと共に、今回の公開討論で出てきたキーワードを抽出し、全体として『“あの手この手”のいい川づくり』をまとめ、閉会しました。

- 右図 上から
- ・各団体、公開討論で出たキーワード
 - ・グラレコ(発想着眼点、住民)
 - ・グラレコ(協働、計画・技術)





～明日香村 正月の伝統行事～

飛鳥川 綱掛神事（奈良県）

綱掛神事は、奈良県明日香村の
稲淵と栢森かやのもりに伝わる神事です。稲
淵は「男綱」、栢森は「女綱」がかけ
られます。
子孫繁栄と五穀豊穰を祈り、飛
鳥川と道路をまたいで綱をつり渡
し、悪疫が川や道路をとおって進
入することを押しとどめ、住民を
守護するための神事と言われてい
ます。

御船の滝
(奈良県)



～夏も、冬も美しい滝～

奈良県吉野郡川上
村井光いかりにある「御船みふね
の滝」は、高さが約50
mあり、2段になって
水が勢いよく流れ落
ちます。冬季の冷え
込みによっては、見事
な氷瀑ひょうばくになることも。
その姿は文殊菩薩を
現すともいわれ、知
恵を授ける滝として
伝えられています。

出典：奈良県川上村HP (<http://www.vill.kawakami.nara.jp/kanko/docs/2017022500119/>)

いすずがわ はつほびき ないくう りょうかわびき 水辺を楽しもう
五十鈴川 初穂曳 ～内宮領川曳～



かんなめさい
神嘗祭をお祝いし、
 感謝の心で
お初穂を奉納



神嘗祭(かんなめさい)は、神様に新穀を奉げ、五穀の豊穰、国民の平安などをお祈りする大祭で、伊勢神宮で執り行われる年間1500余りのお祭りの内、最も重要な祝儀です。

三重県伊勢市にて、神嘗祭を奉祝する行事として、その年収穫されたお初穂(お米)を神宮に奉納する「初穂曳(はつほびき)」。内宮領川曳は、多くの参拝客が見守る中、初穂船を曳き、祭り装束で一級河川宮川水系五十鈴川を歩き進みます。

宇治橋の下流で一気に川から神域へと初穂船を曳きこむ様子は壮観で、他にない伊勢市ならではの風物詩となっています。



鴨川探検！再発見！第54弾

■日時：令和2年2月2日（日） 午前10時～12時

■場所：鴨川（京都市北区、北山大橋周辺）

<概要>

京都府では、多くの人に親しまれている鴨川の魅力を改めて発見し、治水や防災、川への理解を深め、河川愛護や自然環境保全への関心と主体的な取組の輪を広げるため、“鴨川探検！再発見！”を開催しています。

第54弾となる今回は、「冬の鴨川 水辺の野鳥観察会」として、鴨川に飛来する野鳥を観察します。



・交通機関：最寄り駅京都市営地下鉄「北山」駅下車
徒歩10分

・参加費：無料

・問合せ先：京都府建設交通部河川課

TEL 075-414-5288

<http://www.pref.kyoto.jp/kamogawa/index.html>

次号、“かわの情報誌”さらさ”109号は
2020年3月下旬発刊予定

■編集後記

お忙しいところ、記事の作成・投稿にご協力いただきありがとうございました。紙面をお借りして御礼申し上げます。近畿各府県・市のさまざまな取り組みについて、本編集を通して勉強させていただきました。今後も「さらさ」を情報共有・情報発信の場として、さらに活用していただければと思います。

三重県県土整備部河川課 中井

編集・発刊：三重県、福井県、滋賀県、京都府、京都市、大阪府、大阪市、堺市、兵庫県、神戸市、奈良県、和歌山県、国土交通省近畿地方整備局